



Company Profile

会社案内

ご挨拶

プラネットは日用品・化粧品業界の主要メーカーが出資して、1985年に日本初の業界特化型のEDI（電子データ交換）サービスを作り上げました。EDIに各社の個別仕様を持ち込まず「みんなが業界標準仕様に合わせる」という考え方は先進的なものでした。誰にでもオープンで、取引先と双方で業務効率化が期待できるEDIサービスは、日用品・化粧品業界だけでなく、ペットフード・ペット用品業界、OTC医薬品業界にも採用され、現在は消費財流通の情報インフラとして機能しています。

近年、世界レベルでの感染症や大規模な自然災害が頻発するようになり、在宅ニーズの高まりと被災地の復興支援などで、各地に滞りなく商品を提供する流通業の社会的役割はますます高まっています。当社は環境がどんなに変化してもサービスを継続し続けることが社会的使命であると認識し、EDIやデータベースの処理を行うデータセンターを太平洋側と日本海側の二拠点に分散して常時稼働させる他、お客様の運用支援を行うコールセンターも二拠点で運用するなどして、緊急時も普段通りのサービスを安心してご利用いただけるよう取り組んでおります。

また、昨今の物流危機とSDGsの取り組みは流通業全体の課題であると考え、「ロジスティクスEDI」を推進することで物流業務のさらなる合理化に貢献し、大手から中小までの幅広い企業を視野に入れた活動を行うことで、業界全体のCO2の削減に貢献したいと考えています。

プラネットが提供するEDIサービスは、インターネットの登場により今ではあたり前になっているデータ通信です。当社は今ではあたり前になっていることを、先駆けてきた企業です。この精神を忘れず、当社が持っている潜在能力を顕在化し、新たなあたり前の価値をつくる、常にそこにチャレンジし新価（新しい価値）を創出する企業に新化（新しく進化）していきます。

これからも業界の皆様の成長・発展と共に、プラネットを成長させてまいります。



さ か た ま さ か ず
株式会社プラネット 代表取締役社長 坂田 政一

経営理念 — 広く遍く～消費財流通の情報インフラであり続けます～ —

「企業は社会のためになるサービスを提供してこそ存在価値がある」そして「標準化による業務効率化」、この2つがプラネットの根底にある理念です。プラネットのユーザーは資材サプライヤー、消費財メーカー、卸売業、そして小売業です。これら全ての皆様のお役に立てるサービスを広く遍く提供する、価値ある企業であることを常に意識し続けます。

プラネットが提供するサービスは、企業間のデータ交換サービスです。インターネットの登場により昨今では当たり前のようにになっているデータ通信ですが、その当たり前を確実に実現するサービスです。

プラネットは、日用品・化粧品業界の有力企業8社の合意の元に設立された企業です。現在では日用品・化粧品はもちろんのこと、幅広い業界で積極的にプラネットのデータ交換サービスを導入いただいております。いまや流通業界全体の活発な取引を支え、ひいては日本全体の流通を支える基盤を提供している責任感を持ち、事業を展開しております。

流通業界全体での業務効率化を促し、業界を構成する各企業様、そして消費者にまで受益をもたらすことが、私達プラネットの役割です。



企業理念

1. プラネットは、流通機構全体の機能強化を目指し、流通業界を構成する各企業（製造者・配給者・販売者）が合理的に利用できる情報インフラストラクチャーの構築・運営を通じて業務効率化を進め、ひいては国民生活の向上に貢献します。
2. プラネットは、情報インフラストラクチャー・サービスを提供するにあたり、流通業界を構成する各企業（製造者・配給者・販売者）の役割を尊重するとともに、公平に便益を享受できるよう配慮します。
3. プラネットは、常に社員の人間性を尊重して社員の創造性の伸張を促し、また、仕事を通じて社員の自己形成を支援します。

ビジョン2025

プラネットは中立的な立場で、

1. 企業間取引における業務効率の追求
2. 企業間におけるコミュニケーションの活性化
3. 流通における情報活用の推進
4. 社会に役立つ情報の収集と発信

を行うことで業界を元気にし、社会に貢献する会社を目指します。

プラネットの役割

1. プラネットは、ユーザーに安心してご利用頂くために、
 - (1) 安全なサービス
 - (2) 中立的なサービス
 - (3) 標準化されたサービスを継続的に提供します。
2. プラネットは、ユーザーに最適なサービスを提供するために、
 - (1) 最新情報技術の研究
 - (2) 情報・流通関連の標準の研究
 - (3) 流通業界の構造変化の研究について継続的に努力します。
3. プラネットは、ユーザーの情報機密を守るために、
 - (1) 情報セキュリティ管理体制の構築
 - (2) 不正なアクセス、破壊工作からの防御
 - (3) 要員のセキュリティ意識の徹底について最大限の努力をします。

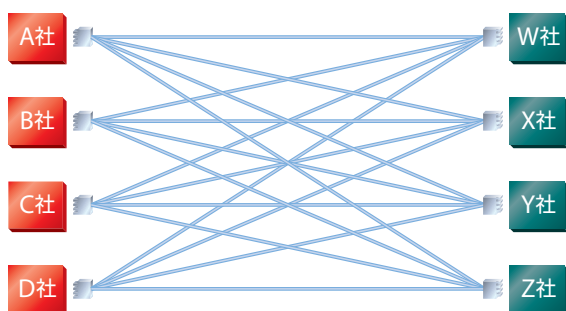
事業概要 — 業界全体の効率化を促進 —

企業間のデータ交換を行うには、お互いのシステムを確認して連動させなければなりません。お取引先が少なければそれほど問題にはならないかもしれませんが、もしお取引先が100社あったとしたら、理論上は100種類のシステムに対応させる作業が必要になってしまいます。

このような問題に対して有効な解決策は何かあるのでしょうか。その鍵になるのが“標準化”という言葉です。たとえば電化製品を例にとってみると、日本国内であればどのメーカーの製品でも、コンセント差込口の形が合わないというトラブルはありません。これはコンセントが各メーカーの枠組みを超えて

“標準化”されているからです。パソコンなどでおなじみのUSB、Bluetoothという規格も、メーカーの枠を超えた“標準化”の例と言えます。

私達プラネットでは、企業間でのデータ交換の“標準化”を中心とした事業を展開しています。ご利用企業はプラネットへ接続いただくだけで、同じようにご利用されている複数のお取引先と標準化されたデータのやりとりができるようになります。自社で独自にデータ交換システムを構築する必要がなく、技術的にもコスト面から考えても、非常に効率的な手段だと言えます。



取引先の数＝接続数
取引社数が増えるほど、システム負荷が大きい。



各企業はプラネットへの接続を1本確保すれば、複数の取引先とデータ交換が可能。

展開事業

EDI事業

基幹EDI/MITEOS/Web発注/販売レポート
(ミテオス)
/資材EDI など

EDIとは「電子データ交換」を意味する「Electronic Data Interchange」の略で、企業がコンピュータを通じて取引先とデータをやりとりをすることです。

数多くの取引先と高精度のデータを効率よく交換するために不可欠な「標準化」を常に意識し、企業間の確実なデータ交換を実現するサービスをご用意しています。

データベース事業

取引先データベース/商品データベース など

取引先の情報やメーカーが登録した商品の文字情報・画像、医薬品の添付文書・説明文書の情報を維持・管理し、必要な時に必要なデータをご提供しています。

その他事業

バイヤーズネット® など

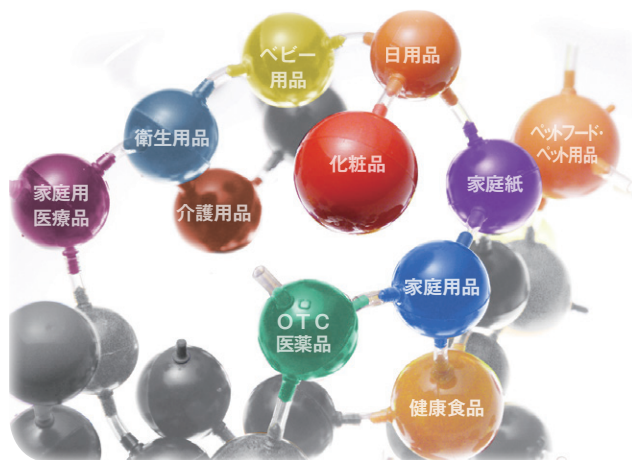
メーカー・卸売業・小売業間のマーチャンダイジング業務を支援しています。

今後の展開 —より多くの企業様により多くの便益を—

導入業界の拡大

プラネットが提供するEDIサービスは、主に日用品・化粧品業界のメーカーと卸売業者間のニーズから発生して来たものです。そこから次第にサービスを拡大し、現在はペットフード・ペット用品やOTC医薬品、家庭用品、健康食品など幅広い業界で導入いただいております。

このことは、多くの経営者様が、プラネットの提供する事業価値が、自社システムを標準に合わせる苦労を上回るものと、ご理解いただいたことを意味しています。これからも当社は流通業界のための標準化を心がけ、一歩ずつ着実に導入業界の拡大に努めてまいります。

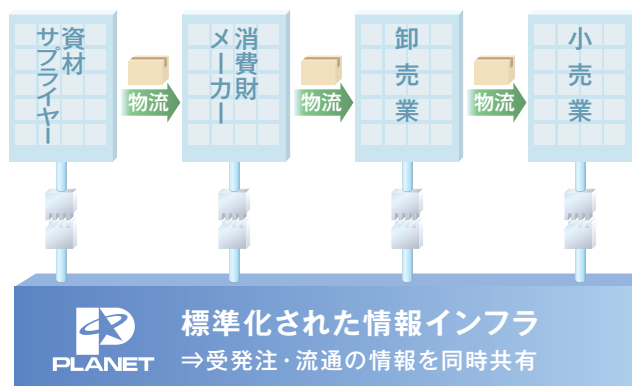


他にも、園芸用品、消耗家電、スポーツ用品、文具、軽衣料、理美容など様々な業界で導入いただいております。

小売業への展開

プラネットはこれまで、消費財メーカーと卸売業の間でのデータ交換を主軸として事業を行なってきましたが、今後は資材サプライヤーから小売業まで流通業界全体をサポートする情報インフラを目指します。

すでに商品データベース、医薬品説明文書データベースや商品マスタ登録支援サービスが多くの小売業で活用されているほか、ドラッグストア業界で取り組みが進められている標準EDIの普及に向け、スムーズで無駄のない情報流通を可能にする業界運用センターを提案しております。



ビジネスシーンの拡大

プラネットのサービス領域は、受発注のような定型業務のコストを削減するネットワークだけでなく、商品開発やマーケティングなど非定型業務の効果を上げるネットワークにも拡大しています。バイヤーズネット®を活用すると、企業対企業の一方向的な情報伝達ではなく、個々のキーパーソンに向け必要な情報を安全かつタイムリーに発信、共有することができます。取引先との協業が注目される現在、プラネットはこれからの流通を支えるサービスとしてバイヤーズネット®を積極的に展開してまいります。

国際取引にも対応



プラネットのEDI事業は、国内にとどまるものではありません。すでに欧米企業との高速・大容量かつ安全なインターネットEDIも行われ、国際取引においても“標準化”されたシステムが大きな優位点となっています。

国際標準に準拠したプラネットのインターネットEDIは、国内メーカー様においては海外市場へのビジネス拡大を、卸売業・小売業の企業様においてはより一層の商品拡充を促し、日本の流通業界全体にさらなる活気をもたらすでしょう。

貢献できる企業 —役立つことが存在意義—

プラネットが展開する標準化されたEDI ネットワークは、流通業界において必要不可欠な情報のインフラとなりつつあります。ただ、その情報インフラが道路や水道などのいわゆる公共インフラと違うのは、その必要性が流通業界の関係者以外にはわかりにくいということです。

"インフラは国や公共機関が作る"という考えは、すでに過去のものと言えるでしょう。ビジネスの現場に携わる人間が情報インフラの必要性和有益性を感じるのであれば、国に作ってもらうのではなく、自らインフラを構築すれば良いのです。いまや、ビジネスが社会をリードしていく時代なのですから。



消費者への貢献

"いつでも品物が手に入る"というのが当たり前の時代です。そのため、みなさんが普段行かれる量販店やコンビニエンスストアでは、商品発注・入荷と商品陳列が日々行われています。安定した商品提供には、どの品がいくつ不足しているか、メーカーの製造、卸売業の取扱い、小売店の入荷、全ての情報が正しく共有される必要があります。

お気づきのように、それらをスムーズに行うためのインフラがプラネットのEDIなのです。



流通業界のために

企業は常にライバル社と競争し続けています。仮に情報インフラの必要性を感じても、競争相手に使われることを考えると、自らの技術や資金を投じてインフラを整備するのは非常に困難です。だからこそ、全ての企業に対して公平にインフラを提供するプラネットは非常に希有であり、有用であると評価いただいております。メーカーでも卸売業でも小売業でもないプラネットだからこそ、流通業界の業務効率化を目指して事業を展開しています。



株式を上場している理由

プラネットは株式上場企業です。上場企業である以上、利益を追求するという一面はありますが、ユーザーの皆様へ情報を公開し、業界全体に対して公平・中立であることを証明するための手段でもあります。

健全なビジネスを展開することが、特定の企業ではなく業界全体への貢献となることを明らかにするために、株式会社として上場を行っております。

BCP（事業継続計画）



緊急災害時などを想定したBCPに関しては、首都圏と関西圏の2カ所に拠点を設け、システムを三重化すると共に、2011年8月の新システム稼働に伴って、災害復旧対策が大幅にレベルアップしました。またユーザー様にご協力いただき、緊急連絡先への一斉同報連絡網の作動確認など、緊急時を想定した障害対応訓練も定期的実施しております。

単に自社だけのBCPではなく、流通業界全体のBCPを視野に入れ、情報インフラを提供しております。

ユーザーサポート

プラネットのサービス導入を検討されるお客様を、当社は様々な視点でサポートしてまいります。

また、国内外の様々な技術・情報にアンテナを張り、常に新しく、かつ安定し、業界の各企業様が安心してビジネスに取り組めるよう、鋭意努力してまいります。

- システム接続・稼働・運営のサポート
- ユーザー会、各種セミナーの開催
- 広報誌、意識調査の発行 など



企業情報

(2025年7月31日現在)

【正式社名】

株式会社プラネット (英文名: PLANET, INC.)

【所在地】

〒105-0013
東京都港区浜松町 1-31 文化放送メディアプラスビル3階
Tel. 03-5962-0811

【設立】

1985年8月1日

【資本金】

4億3,610万円

【上場市場】

東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード: 2391)

【取引銀行】

三菱UFJ銀行 みずほ銀行

【URL】

<https://www.planet-van.co.jp/>

【大株主の状況】

- ・ライオン株式会社
- ・日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付口・株式会社インテック口)
- ・ユニ・チャーム株式会社
- ・ジョンソン株式会社
- ・エステー株式会社
- ・日本製紙クレシア株式会社
- ・牛乳石鹸共進社株式会社
- ・個人株主
- ・個人株主
- ・小林製薬株式会社
- ・ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社
- ・クラシエ株式会社

【取締役】

(2025年10月24日現在)

代表取締役社長: 坂田 政一

代表取締役副社長: 松本 俊男

取締役: 川村 渉

取締役 (社外): 竹森 征之 疋田 秀三
吉松 徹郎 高野 綾子

取締役 常勤監査等委員: 山本 浩

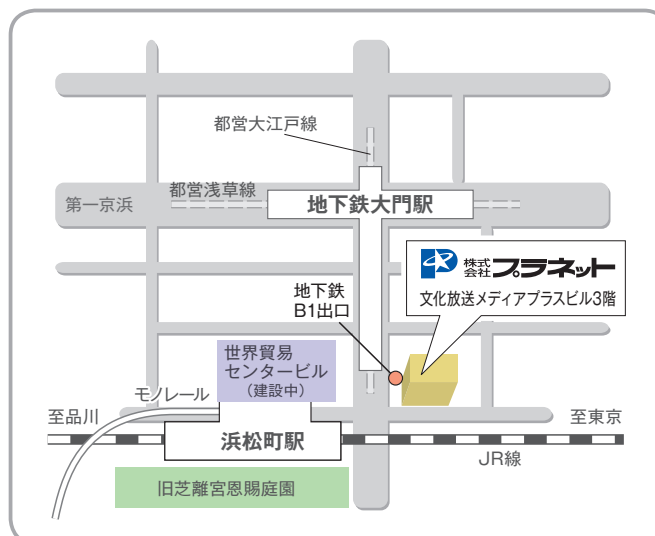
取締役 監査等委員 (社外): 岩成 真一 鎌田 竜彦

【執行役員】

執行役員社長: 坂田 政一

執行役員副社長: 松本 俊男

執行役員: 川村 渉 今村 佳嗣
上原 英智 梶原 基陽





〒105-0013 東京都港区浜松町1-31
文化放送メディアプラスビル3階
<https://www.planet-van.co.jp/>



Mixed Sources

FSC認証林及びリサイクルされた
木材や木材繊維からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-004154
© 1996 Forest Stewardship Council